

ハピネッツ 小坂で子ども食堂 桃豚、友達と食べたよ



子ども食堂で桃豚を使ったメニューを楽しむ子どもたち

秋田ノーザンハピネッツ社(秋田市)の出前子ども食堂が、小坂町荒屋の町七滝コミュニティセンターほっとりあで開かれた。

0~15歳の子どもと保護者計55人が参加。同町の養豚業・ポークランドグループが銘柄豚「桃豚」を提供し、子どもたちが地元産の豚肉を使ったメンチカツなどを味わった。

小坂町社会福祉協議会の子ども食堂「いちごいちえ」と共同で1日に開催した。いぶりがっこ入りメンチカツや炊き込みご飯、豚汁といったメニューを無料で提供し、小坂中学校の2年生6人がボランティアとして配膳などを行った。

参加した同町の和田逢花さん(9)は「桃豚は脂があっておいしかった。日曜日に友達とご飯を食べるのは珍しくて楽しい」と話した。

食事前にはハピネッツ社が用意した器具を使い、綱渡りに似たスポーツ「スラックライン」や鉄棒などを楽しんだ。

ハピネッツ社の出前子ども食堂は、昨年9月の鹿角市を皮切りに県内全25市町村で開催しており、小坂町が25カ所目。ポークランドグループは、ハピネッツ社の子ども食堂に毎月1頭分の豚肉を提供している。

町社福協は、保護者の家事負担を軽減しようと月1回子ども食堂を開催している。

(本多恒顕)

(令和8年3月7日(土) 秋田さきがけ新聞より一部抜粋)